

ellipse

[エリプス]

楕円(ellipse)には焦点がふたつあります。男性中心の社会から、女性と男性がそれぞれに中心(焦点)となる社会を目指すという思いを込めて、誌名を「エリプス」と名づけました。

TOPICS

德音堂物語 6

德音堂の思い出～体育科卒業試演会より



ワタシ

深津知寿 FUKATSU, Chizu イラストレーター
東京生まれ。1988年、お茶の水女子大学文教育学部地理学科卒業。在学中に、『週刊朝日』誌上にて「山藤章二の似顔絵塾」特待生となる。広告代理店勤務を経て、1990年より作家活動を開始。書籍装画、CDジャケットなど多く手がける一方、エッセイ執筆、壁画制作などの活動を展開している。

特定非営利活動法人
お茶の水学術事業会

REPORT

講演会のご報告
科学史散歩6
「カテキン(お茶)の研究により
日本初の女性農学博士 辻村みちよ」

INFORMATION

德音祭のお知らせ
お茶の水女子大学 イベント情報
事務局よりお知らせ

しっとり、香りゆたかに。



ヤマザキ 毎日おいしい **超芳醇**
www.yamazakipan.co.jp



ACCは、国際社会が忘れてしまった
コソボの人々の小さな声に耳を傾け、
心のサポートをするNGOです。

NPO法人
ACC危機の子どもたち・希望
〒150-0021
渋谷区恵比寿西2-16-15-102
Tel/Fax03-3496-7090
e-mail: forhope@tkk.att.ne.jp
URL: www.acc-japan.jp

ACC学生部では、
コソボと日本の
子どもたちを結び活動を
展開しています。学生部の
メイン・プログラム「風の船」
に乗って、あなたと一緒に
子どもたちと
手をつなぎませんか?
活動に興味をもたれたかたは、
下記までご連絡ください。



e-mail: forhope@tkk.att.ne.jp

STO 斉藤翻訳事務所 SAITO TRANSLATION OFFICE

代表: 斉藤 潤

翻訳者募集 (在宅/下訳)

業務拡大に伴い、様々な分野に対応できる方を
募集します。履歴書をE-mailにて下記アドレス
へお送りください。

- 法律
- 研究論文
- 契約文書
- コンピューターソフト
- コンピューターハード
- 電気
- 電子

お問合せ

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-23-17ディアナコート恵比寿1206号
TEL 03-3446-1155 FAX 03-3446-1156 jun-saito@mve.biglobe.ne.jp
◆業務実績など詳細はホームページで <http://www.7a.biglobe.ne.jp/~sto/>

「お茶大ゴーフル」はご賞味いただけましたでしょうか?
お土産に、記念に、会合にぜひお買い求め下さい。
お茶の水女子大学生協で店頭販売しています。

お茶大ゴーフル 好評発売中!



ばいら・ちょこ・いちご 各4枚入 600円(税込)

通信販売いたします

※送料はお客様負担となります。

ご注文はメール・電話・FAXどうぞ!
E-mail: info@npo-ochanomizu.org TEL&FAX: 03-5976-1478
●発送も承りますので、お茶の水学術事業会事務局まで申込みください。



◆事務局所在地
東京都文京区大塚2-1-1
お茶の水女子大学
理学部3号館204

◆交通機関
地下鉄 丸の内線
茗荷谷駅から徒歩7分
地下鉄 有楽町線
護国寺駅から徒歩8分
都バス
大塚2丁目バス停すぐ

編集後記

食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋、そして德音祭の秋です!今年も、11月11、12日に開催されます。楽しそうな企画が盛りだくさん。当会でも、Ochas(食物栄養学科3年有志の会)と共催でセミナーを行います(5ページをご覧ください)。皆様是非、ご来場ください。お待ちしております!!

広告募集

このページに広告を掲載しませんか?次号は来年1月、約2,500部発行、広告料金は20,000円/回、会員の皆様をはじめ全国の公共機関などに送付します。ブックレットの広告も募集しております。詳しくは事務局へお問合せください。

事務局

OPEN 月~金 10:00~16:00
〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 お茶の水女子大学 理学部3号館 204
TEL&FAX 03-5976-1478 E-mail: info@npo-ochanomizu.org
<http://www.npo-ochanomizu.org>

※会員の方は、お問合せの際、会員番号をお知らせください。会員番号は封筒の宛名ラベルに印字してあります。

き いん どう
徽音堂物語 6

徽音堂の思い出～体育科卒業試演会より



徽音堂では、入学式や卒業式、徽音祭（お茶の水女子大学学園祭）などいろいろな行事が行われます。以前は、演劇祭、体育科の卒業試演会なども行われていました。体育科は、昭和25年に音楽専攻と体育専攻に分かれるまでは、体育、ダンス、声楽、ピアノ、音楽理論、コーラスなど音楽と体育の両方の勉強をしていました。

昭和24年に東京女子高等師範学校体育科をご卒業なされた、今泉ふさ江様、高田祥子様、前田作子様、畠山京子様よりお話を伺いましたので、ご紹介いたします。貴重なお写真は畠山京子様から拝借しました。

卒業試演会の思い出

体育科では、卒業する年の秋に卒業試演会がありました。写真1は、右が体育科3年生、左が4年生で、「グローリア」と「白バラのおうた」：ネエゲイ作曲、高橋信夫作詞、三部合唱」を藺田誠一先生の指揮で合唱している様子です。「優しく歌のように。」と言われて、先生の美しくやさしいテノールをお手本に熱心に練習したことがとても印象に残っています。

戦後間もないこのころは、ものがない時代で、卒業試演会で着る衣装を手に入れるのも一苦労でした。ブラウスが白、スカートが黒と決まっていた。ブラウスは、家政科の友人から借り、スカートは、母の錦紗のストールをといてギャザースカートに自分で仕立てました。靴は、家政科の友人が、アメリカ

から送られてきたというスウェードの花がついたハイヒールをくれました。友人が履く機会がないと言っていたその靴は、当時としては珍しく、ハイカラというのでしょうか、皆に靴ばかりじろじろと見られたことを昨日のこのように思い起こします。

髪型は、入学当初は、「女高師髷（じょうしまげ）」というのがあり、後ろでひとつにまとめてお団子に結わなければなりません。入学当初は、慣れないうえに髪が短くて、ひとつに結うためにピンをたくさん使わなくてはならなかったので大変でした。やっと髪が伸びて、ピンを使わなくても結えるようになったころ、その規則がなくなり、写真のように、皆、髪をおろすようになりました。

3年生のときに、卒業試演会の照明係りをしました。徽音堂に池田さんという技師の方がいて、使い方などを丁寧に教えてくれました。前日にスポットライトがショートして、代わりのものを調達するのに時間がかかり、夜遅くまで待っていました。電話などない時代ですので、家に連絡することもできず、どうなるかと気をもみました。家に帰り着いたときには、ほっとしました。

朝一番に来て、ピアノの練習をしたことを懐かしく思い出します。ものがない時代で、家にピアノがある人はほとんどいなかったため、交代で練習をしました。徽音堂のグランドピ



写真1：藺田誠一先生指揮、右手が3年生（昭和24年度体育科卒業生）、左手が4年生（昭和23年度体育科卒業生）

アノは使えませんでした。本館3階や別館にあった体育科の練習室や徽音堂の舞台の袖にあるアップライトのピアノで夢中になって練習しました。

写真2は、昭和23年10月の卒業試演会の集合写真です。右から、守田貞勝先生（ピアノ）、藺田誠一先生（声楽：テノール）、平井美奈先生（声楽：ソプラノ）、小松耕輔先生（作曲、西洋音楽）、加古（小泉）三枝子先生（声楽：ソプラノ）、遠見豊子先生（ピアノ）、柴田（戸田）敏子先生（声楽：アルト）です。

写真3は、藺田先生と加古（小泉）先生による2重唱です。藺田先生には、とても丁寧に指導していただきました。加古先生は、とても美しい先生で、民族音楽学者の小泉文夫氏（東京藝術大学に小泉文夫記念資料室があります）と結婚されました。音楽に関する著作のほかに、「シルバーライフ in 東京」などのエッセイもあります。数年前にリサイタルのお知らせが届きましたが、行けなかったことが残念です。

いろいろな思い出
創立74周年

写真4は、創立74周年の写真です。正門の門柱に「東京女子高等師範学校 創立七十四周年」、「自十一月二十八日至十一月三十日」とあり、徽音堂の前に、「祭」とかかれた幕がかかっているのがわかります。現在は正門前にバス停がありますが、路面電車のころは、坂をあがった交差点（三井住友銀行がある交差点）にある「大塚仲町」という停留所が最寄駅でした。路面電車は、ここから池袋行きと大塚行き、早稲田行きにわかれています。大山寮から通う人は、東武東上線で大山駅から池袋まで、そこから路面電車に乗って通学していました。

徽音堂で衣装作り

徽音堂の2階の席で、舞台の衣装を夜なべして作りました。上級生の衣装を作ったこともあります。生地などなかなか手に



写真3：加古（小泉）三枝子先生と藺田誠一先生の二重唱



写真2：昭和24年度卒業生の卒業試演会後の集合写真。一番右が高田祥子さん、その隣が今泉ふさ江さん、右から6番目が前田作子さん、左から6番目が畠山京子さん

入りませんでした。いろいろと工夫しました。とても楽しかったです。

芥川也寸志氏に心ときめかせて

徽音堂の思い出はたくさんありますが、女高師附属学校と東京高等師範附属学校（後に東京教育大学を経て筑波大学附属高校）が、合同で練習しているのを、のぞきに行ったこともありました。確か、合唱コンクールのために「ハレルヤ」を練習していて、芥川也寸志氏が指揮・指導していました。指揮・指導方法に興味があったことと、何より、当時から人気者だった芥川也寸志氏を見たくて、心ときめかせて見に行きました。芥川也寸志氏は、ご存知の通り、芥川龍之介氏の三男で、東京高等師範附属学校の出身でした。その縁で、いらしていたと思われる。

ヴァイニング夫人の講演会

当時の皇太子（後の昭和天皇）の教育係であるエリザベス・グレイ・ヴァイニング夫人の講演会が徽音堂でありました。英語で話され、通訳が日本語に訳してくれました。これは徽音堂での一番の思い出です。

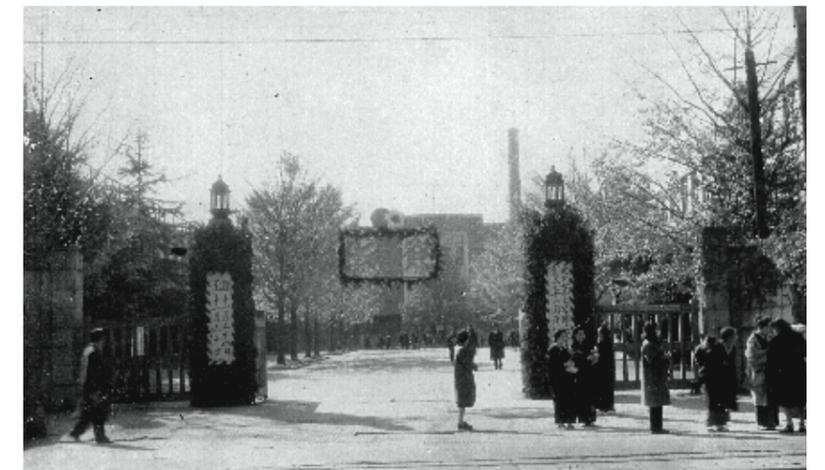


写真4：創立74周年 正門から見た徽音堂

講演会のご報告



共催事業

桜蔭会兵庫県支部とお茶の水学術事業会との共催により、お茶の水女子大学の菅聡子先生をお迎えして、講演会が開催されました。



▲菅 聡子先生

演 題 : 「時代の中の一葉 ～女性作家であること」
日 時 : 2006年5月13日(土)10時20分～12時
場 所 : ホテルニューオータニ神戸ハーバーランド5F「舞の間」

講師の菅先生は、樋口一葉の作品とその背景や、一葉の生きた明治という時代について、ユーモアを交えてわかりやすく、講演されました。作品が高く評価されても、女性作家として女性という性に関心が集まるのを一葉は見抜いていたこと、この傾向は現代にも通じること、夭折した一葉の作品を守り後世へ伝えたのは妹の邦子であったことなどが、特に参加者の興味をひいたようです。菅先生のお話の巧みさや、研究に対するひたむきな姿勢に賞賛と感動の声が多数寄せられました。

講師派遣事業

市民自主学級「ハッピーマグネット」(代表 村上 和江氏)において、お茶の水女子大学副学長の内田伸子先生が講演されました。

演 題 : 「子どもの想像力を育む母親の役割」
日 時 : 2006年6月26日 10時～12時
場 所 : 神奈川県教育文化会館大師分館

1歳から5歳の子どもの持つ母親を対象に、子どもの成長する段階について統計や実体験をふまえたお話がありました。早期教育の弊害や子どもとの接し方など、とても勉強になる内容でした。数ヶ月の命だった子どものエピソードには、参加者のほとんどがハンカチで涙をぬぐいながら、命の大切さ、ありがたさをつくづくと感じていました。

「長女がウソをついて人のせいにするのですが、どうしたらいいですか?」という質問には、「子どもにウソをつかせているのはお母さんで、子どもはウソをつきません」と回答され、視点を変えた説得力のある解説に皆、納得していました。



▲内田 伸子先生の講演

●素敵な本と出会いませんか?

「廣池英子の世界 量子論的思考からうまれたジャズ」

昨年の徽音祭でジャズのライブを行った廣池さんは、お茶の水女子大学を卒業後、分子の電子構造理論を研究する物理学者から音楽家に転身された異色のジャズピアニストです。廣池さんが作曲した曲は、とても心地よく心に響いてきます。そんなすてきな曲の譜面と解説に田村セツ子氏の美しいイラストが添えられた、眺めるだけでも楽しい一冊があります。

この本を先着15名様にプレゼントします!ご希望のかたは、メール (info@np-ochanomizu.org) かFAX (03-5976-1478) にて、住所、氏名、電話番号、「廣池英子の本希望」と書いてお申し込みください。

Present
フ レ ゼ ン ト



発行: ジャズ批評社(株)松坂
著者: 廣池英子
定価: 1,050円
B5判
お近くの書店でご購入もできます。

徽音祭のお知らせ

- 日時 2006年11月11日(土)13時～
- 場所 お茶の水女子大学食堂(マルシェ)に集合!!

公開セミナー「共食のすすめ～磯野一家を見直そう～」

11月11日(土)、12日(日)にお茶の水女子大学学園祭「徽音祭(きいんさい)」が開催されます。お茶の水学術事業会とOchas(オチャス)の共催による公開セミナーにどうぞご参加ください。

第57回となる今年のテーマは「お茶の娘・祭×2～チャイルド心でわんさか遊んでいっぱい出会っちゃいなよ!SP～」です。お茶の水学術事業会では、Ochas(オチャス)と共催で、公開セミナー「共食のすすめ～磯野一家を見直そう～」を行います。Ochasは、お茶の水女子大学食物栄養学科3年生が中心となって活動しており、「食の第4機能」を社会にメッセージとして発信することで、食や栄養に関する知識を普及し、人々の健康増進に寄与することを活動目標のひとつとしています。

今回のセミナーでは、特に、「共食」を取り上げます。「孤食:一人で食事をとること」が増え、問題視されています。友人や家族と一緒に楽しい食事は、人を幸せな気持ちにしてくれます。大切にしたいですね。

食物栄養学科講師の赤松先生のお話とOchasによる磯野一家物語。お楽しみに!!

★
「食の第4機能」とは、Ochasが新たな概念として作り出したもので、食の第1機能から第3機能までに含まれていない、「感情の効果」を指します。食事や食事をする環境、その他の要因から感じる喜びや楽しみ、癒し、安心感などのプラスの感情がもたらす効果のことです。ちなみに、食の第1機能は「栄養学的機能」、第2機能は「おいしさ」「味覚の機能」、第3機能は「生体調節機能」とされています。

さいさい
お茶の娘♥祭×2
～チャイルド心でわんさか遊んで
いっぱい出会っちゃいなよ! SP～

第57回徽音祭のテーマ

cha cha cha 茶・茶・茶 お茶大再発見!

科学史散歩 6 ～カテキン(お茶)の研究により日本初の女性農学博士 辻村みちよ

「カテキン」という言葉が巷に溢れています。抗がん作用がある、高血圧や糖尿病を防ぐ効果がある、美白効果があるなどなど...こんなすばらしいカテキンを初めて結晶として抽出したのは辻村みちよです。

辻村みちよは、1888(明治21)年に、埼玉県で生まれ、「これからは女子も職業につく時代がくる」という進歩的な考えの両親に育てられました。1909年、東京女子高等師範学校に入学し、女性初の理学博士であり新進気鋭の研究者として活躍していた保井コノ教授や、黒田チカ女史の影響を受けました。卒業後は女学校で教師をしていましたが、自然科学者を志して、1920年、32歳のときに北海道帝国大学の無給副手になりました。当時は女子の大学への入学が認められず、助手という

身分でした。その後、東京帝国大学医化学研究室へ移りましたが、関東大震災で焼失したため、理化学研究所に移りました。そこで、鈴木梅太郎博士と出会い、緑茶の研究を始めます。1929年、緑茶の渋みの成分であるエピカテキンとエピガロカテキンを結晶にすることに成功し、1932年、44歳の時に、論文「緑茶の化学成分について」で東京帝国大学から学位が与えられました。女性初の農学博士の誕生でした。

1949年からお茶の水女子大学の教授を務め、研究と教育に熱心に取り組みました。子どもの科学的な興味を芽生えを母親が支える大切さや、物理、化学の知識を実生活の合理化に結びつけることなども説いています。現代の子どもの理科離れ対策としても有効なのではないでしょうか。



▲辻村みちよ

お茶の水女子大学 イベント情報

2006年10月以降にお茶の水女子大学で開催される各種イベントのお知らせです。詳細は各主催者にお問合せください。

◆ 第3回「読売・お茶大 女性アカデミア21」

【主催】読売新聞社／お茶の水女子大学

期 日	イベント・講座名	参加費	備 考
2006年10月28日(土) 午後	テーマ「家族と犯罪(仮)」 詳細が決まりましたら、お茶の水女子大学ホームページ (http://www.ocha.ac.jp)へ掲載します。	無料	【会場】お茶の水女子大学講堂(徽音堂) 【問合せ先】お茶の水女子大学広報渉外課 TEL:03-5978-5112

◆ 幼児教育未来研究会

【主催】お茶の水女子大学 子ども発達教育研究センター・同附属幼稚園・東京学芸大学総合教育科学系教育学講座幼児教育分野・同教員養成カリキュラム開発研究センター・同附属幼稚園【後援】文京区教育委員会【詳細・申込み】子どもセンターのホームページへ <http://www.kodomo.ocha.ac.jp>

期 日	イベント・講座名	参加費	備 考
2006年10月21日(土) 10:00~12:00	幼児教育未来研究会10月例会 テーマ:幼児のからだ運動遊び 事例提供:宮里暁美(練馬区立光が丘さくら幼稚園) 助言:吉田伊津美(東京学芸大学)	無料 資料代を いただく 場合があ ります。	【会場】東京学芸大学附属竹早小学校
12月16日(土) 10:00~12:00	幼児教育未来研究会12月例会 テーマ:保育環境のデザイン 事例提供:(東京学芸大学附属幼稚園小金井園舎) 助言:戸田雅美(東京家政大学)	無料 資料代を いただく 場合があ ります。	【会場】お茶の水女子大学附属幼稚園
2007年1月13日(土) 10:00~12:00	幼児教育未来研究会1月例会 テーマ:指導計画 事例提供:(東京学芸大学附属幼稚園竹早園舎) 助言:河邊貴子(清心女子大学)	無料 資料代を いただく 場合があ ります。	【会場】お茶の水女子大学附属幼稚園

※11月の例会はありません。

◆ 子どもと学びワークショップ

【主催】お茶の水女子大学 子ども発達教育研究センター【共催】北区教育委員会【詳細・申込み】子どもセンターのホームページへ <http://www.kodomo.ocha.ac.jp>

期 日	イベント・講座名	参加費	備 考
2006年10月17日(火) 13:30~16:30	子どもと学びワークショップ10月例会 (北区非常勤講師研修会) 主題:子どもの学力を伸ばす〜IT少人数指導(算数・数学)を中心に 講師:星野征男	無料 資料代を いただく 場合があ ります。	【会場】北区教育未来館
2006年12月2日(土) 10:00~12:00	子どもと学びワークショップ12月例会 (北区非常勤講師研修会) 主題:シティズンシップの教育、海外での調査報告 講師:吉村春美(三菱総研)	無料 資料代を いただく 場合があ ります。	【会場】お茶の水女子大学本館103
2007年1月27日(土) 13:00~15:00	子どもと学びワークショップ1月例会 主題:この本に思いを託す〜私の創作活動 講師:こやま峰子(児童文芸家協会理事)	無料 資料代を いただく 場合があ ります。	【会場】お茶の水女子大学附属小学校

◆ 第11回お茶の水学術サロン

【主催】お茶の水女子大学 ライフワールド・ウオッチセンター【共催】化学生物総合管理学会

【お申込み】「第11回お茶の水学術サロン参加希望」と明記の上、お名前・所属・連絡先(E-mailまたはFAX・電話番号)を下記の事務局までお知らせください。

お茶の水女子大学 ライフワールド・ウオッチセンター事務局 〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 E-mail: lwcc-jim@cc.ocha.ac.jp Tel: 03-5978-5018 Fax: 03-5978-5096

期 日	イベント・講座名	参加費	備 考
2006年10月6日(金) 9:20~10:30	演題:北里柴三郎の人と業績 講演者:明治製菓株式会社最高顧問 北里一郎氏 わが国の近代医学に多大な業績を残した北里柴三郎博士を身近に見てこられた北里一郎氏をお迎えしてお話いただきます。皆様のご参加をお待ちしております。	無料	【会場】日本科学未来館 7階会議室 (東京都江東区青海2-41) 新交通ゆりかもめ「船の科学館駅」下車、徒歩5分 「テレコムセンター駅」下車、徒歩4分

桜蔭会神奈川支部主催 講演と茶話会のお知らせ

『私が見た欧米教育事情』

講師:多賀 幹子

多賀さんは、企業広報誌の編集長を経てジャーナリストに転身。ニューヨーク、ロンドンなどの在住経験や、アジア・中東などへの取材訪問を通して、著作や講演会などで幅広く活動されています。著書は、「帰国子女の就職白書」、「ダイアナ死して、英国は蘇る」、「育児は3E」、「ソニーな女たち」など多数。とてもホットな多賀さんをお迎えしての講演会に皆様ふるってご参加ください!



日 時 2006年11月26日(日)13時~15時
場 所 ヨコハマプラザホテル 5F 芙蓉の間
(横浜駅東口・地下街ポルタF階段を上る)
参加費 1,000円(当日受付)
定 員 90人(申込み順)

主 催 桜蔭会神奈川支部
後 援 お茶の水学術事業会
申し込み お茶の水学術事業会へ電話・FAX・メールにて受付中
TEL&FAX: 03-5976-1478
E-mail: info@npo-ochanomizu.org

講師斡旋について

ご要望に合わせて講演会やセミナーに最適な講師を斡旋します。自治体主催の市民講座や講演会など、講師のご要望がありましたら、お気軽にお問合せください。



◆ 地方講演会共催のパートナーを募集 ◆

東京都以外の地域での講演会を共催していただける団体等がございましたら、ぜひ、ご連絡ください。

TEL&FAX: 03-5976-1478

E-mail: info@npo-ochanomizu.org

2006年度総会が開催されました

2006年6月3日、お茶の水学術事業会総会が開催されました。審議事項は以下の通りです。これらは、全員一致で可決されました。計画書などの詳細は、HPをご覧ください。

<http://www.npo-ochanomizu.org/jigyoy/>

1. 2005年度事業報告(案)について
2. 2005年度収支決算(案)と監査について
3. 2006年度事業計画(案)について
4. 2006年度収支予算(案)について
5. 理事改選について

また、当日は貴重なご意見をいただくことができました。今後ともよりよい活動のため、皆様のご協力をお願いいたします。

お茶の水ブックレット

お茶大で催されるさまざまな講演やシンポジウムの内容を学外のみならずお届けするために、お茶の水ブックレットを出版しています。大学が発信する新鮮で貴重な情報をお仕事や日常にどうぞお役立てください。



1冊500円(税込・送料別)でお求めいただけます。メール・電話・FAXでご注文ください。最新刊については随時ホームページでお知らせしております。

TEL&FAX 03-5976-1478 info@npo-ochanomizu.org

<http://www.npo-ochanomizu.org/booklet/>

第1号「教育と平和—アフガニスタン女子教育支援シンポジウムから」
緒方貞子氏へのお茶の水女子大学名誉博士称号授与式での記念講演・五女子大学学長によるアフガニスタン女子教育支援パネルディスカッション。

第2号「国立大学改革とお茶の水女子大学のゆくえ」
本田和子前学長の講演(表題)、土屋賢二教授の講演「お茶の水女子大学はどんな人間を生み出してきたか…被害者の立場から」を収録。

第3号「ライフワールド・ウオッチセンター」(在庫なし)
センター設立記念シンポジウムでの記念講演を収録。名古屋市大名誉教授 伊東信行氏、文科省 井上正幸氏、日本学術会議会長 黒川清氏 他

第4号「生命科学フォーラム」
お茶大理学部研究者による生命科学最先端の講演集。「ストレス応答の生物学」「ゲノム解析…遺伝子診断と治療の扉」「糖鎖を操作して健康を守る」「インビボ核磁気共鳴…診断と治療への寄与」他

第5号「現代女性の恋愛・結婚・就労パズル」
「読売・お茶大 女性アカデミア21」での講演とシンポジウムを収録。心理学者で評論家の小倉千加子氏の講演(表題)とパネルディスカッション。

第6号「女性と科学」を科学する」
「読売・お茶大 女性アカデミア21」より、宇宙飛行士 毛利衛氏と評論家 樋口恵子氏との対談、(株)リコー常務執行役員 國井秀子氏、サイエンスライター 青山聖子氏、お茶大理学部教授らによるパネルディスカッションを収録。